

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成 27 年度第 2 回）

栃木県北環境森林事務所

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成において必要不可欠な施設ですが、普段県民の皆様が目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」として捉えられることが多いのも事実です。

そこで、県では、廃棄物処理施設に対する理解を深めていただくことを目的として、施設見学バスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

今回のツアーでは、破碎・固形化施設や最終処分場における廃棄物処理の様子や食料品製造工場における食品残さ等のリサイクルの様子を通じて、廃棄物や廃棄物処理施設について学んでいただけるようなツアーとしました。



3 実施日

平成 27 年 11 月 28 日（土曜日）

4 参加者

35 名

5 見学ルート

図 最終処分場の見学の様子

9:15	那須塩原市役所西那須野支所出発
9:30～11:10	食料品製造工場見学【カゴメ(株)関東工場：那須塩原市】 ○ 飲料の製造ライン、廃棄物の保管場所等を見学
13:15～14:15	破碎・固形化施設見学【(株)DC環境サービス：那須町】 ○ 破碎・固形化の処理工程、廃棄物の保管場所等を見学
15:50～16:00	最終処分場見学【(株)安住：那須塩原市】 ○ 廃棄物が処分場内に搬入されてから、実際に埋め立てられるまでの一連の処理工程を見学
17:00	那須塩原市役所西那須野支所解散

6 当日の様子

- ・ 施設見学の際には多くの質問があり、参加者と事業者の間で活発なやりとりが行われました。
- ・ 参加者からは、「普段見ることが出来ない施設を見学できて大変参考になりました。」、「家庭、勤務先において、改めてきちんと分別して廃棄物を出そうと思いました。」などの意見を頂きました。

7 今後について

平成 28 年 3 月に今年度第 3 回のバスツアーの開催を予定しています。詳細は、県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

バスツアー アンケート結果

H27.12 県北環境森林事務所

- 参加者:35名
- 有効アンケート回答:35件

Q.1 性別を教えてください。 Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	～12	13～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
18	17	0	0	0	1	3	8	11	12

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。

①県民だより	②下野新聞	③県HP	④学校からの紹介	⑤家族、知人の紹介	⑥市町の広報紙	⑦その他
9	2	1	0	4	15	6

官公庁に設置されたチラシ、など

Q.4 参加の理由(複数回答可)

①環境・廃棄物に興味あり	②廃棄物処理施設を見たことがないため	③その他
16	21	0

Q.5～Q.7 施設見学先について

見学先	①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他	主な御意見
カゴメ(株) 那須工場	31	0	2	1	排出される廃棄物の分別等の取り組みがよくわかった。
(株)DC環境サービス	32	0	3	0	廃棄物を製品化するというリサイクルは見たことがなかったので興味深かった。
(株)安住	27	2	4	1	最終処分場やその処分の様子を見学し、施設の意味や仕組みが理解できた。

Q.8 今回のバスツアーは、廃棄物の処理や廃棄物処理施設に対する理解を深める上で参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない	④その他
35	0	0	0

Q.9 Q.8で「参考になった」と回答した方は、具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答可)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③製造業者の取組姿勢	④処理業者の取組姿勢	⑤その他
19	12	20	19	2

環境問題に時間をかけて取り組んでいる、など